

親はぴトークワークショップ研修会 実施要項

1 目 的 親のまなびあいプログラム集を活用した子育て講座を開くための方法やコツを学ぶ

2 実施日時 令和8年6月6日(土) 13:30~15:00

3 会 場 西公民館 大ホール(敦賀市三島町2丁目19-8)

4 受講対象者 子育て講座開催者(PTA、家庭教育支援チーム、公民館など)

5 日程・内容

13:00~13:30 受 付

13:30~13:35 開 会

13:35~14:55 研 修

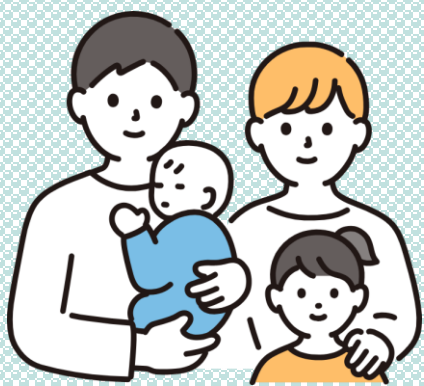
「親のまなびあいプログラム集」を活用したワークショップを効果的に行うには

1 親のまなびあいプログラムの説明 担当:義務教育課

2 演習 講師:しわや ゆうこ氏、増永 瞳氏(ごきげんママ☆ファクトリー)

3 振り返り・ポイント説明・質疑応答

14:55~ 15:00 閉 会



楽しくて、保護者の変容につながりやすい
ワークショップのコツ教えます！

親はぴトーク ワークショップ研修会

子育て講演会で良い話を聞いてもその場だけ…。保護者同士の話し合いが盛り上がらない…。家庭の教育力向上に向けた講座等で悩んでいませんか？保護者同士が楽しく仲間づくりをしながら学び合えるワークショップを開く方法や成功のコツをお伝えします。実際に体験しながら、有意義な子育てワークショップを開くスキルを身につけましょう！

日時： 令和8年6月6日（土） 13:30～15:00

場所： 西公民館【敦賀市】 大ホール（敦賀市三島町2丁目19-8）

対象： 子育て講座開催者

（PTA、家庭教育支援チーム、公民館など）

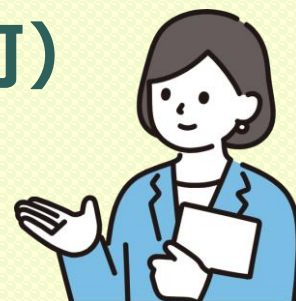
講師： しわや ゆうこ 氏 増永 瞳 氏（ごきげんママ☆Factory）

申込： 下記申込フォームより（前日まで申込可）

【URL】

<https://forms.office.com/r/NRTLX9MfV8>

【二次元コード】



親のまなびあい プログラムを 使って話し合います

「親のまなびあいプログラム」とは、よくある日常のエピソードを題材に、自分の思いや体験などを話し合いながら自分の子育てを振り返り、**気づきや共感を大切に学び合う参加型の学習**プログラムのことです。

話し合いのテーマ例

◆子育て前期の保護者向け

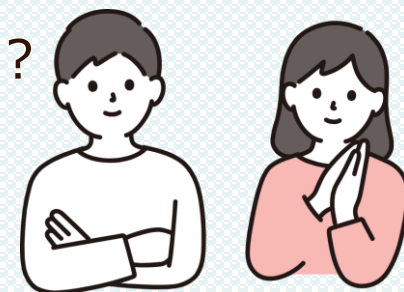
- ・ついイライラ…。余裕をもって楽しく子育てするには？
- ・ゲームがやめられない。家庭のルール、どうしてる？

◆子育て後期の保護者向け

- ・子どもの反抗期、どう接すればいい？
- ・子どもが悩みを話せる関係を作るには？

◆すべての保護者向け

- ・子どもが伸びるほめ方・叱り方って？
- ・失敗をおそれずにチャレンジできる子に育てるには？



他にも
多数あります

親はぴトーク ワークショップの流れ

①アイスブレイク（参加者がうちとけ、話しやすい雰囲気をつくる）

10～20分

初めて会った方どうしても、楽しく会話がはずみます。

②ワーク（4～5人のグループで、エピソードをもとに考えを書き、話し合う）

20～40分

意見を出しやすい、あるあると感じられる身近なエピソードです。

③ふりかえり（自分の気づきや他の参加者の意見を聞く）

10～15分

いろいろな考えや体験を聞くことができ、参考になります。

親のまなびあいプログラム ワークシート例

悩みを話してスッキリ！

楽しく話して仲間づくり！

いろんな考えに、なるほど！



すべての保護者向け 3-3

テーマ 子どもを伸ばすほめ方って？

エピソード

はると君は算数が苦手です。毎日の宿題にとっても時間がかかります。でも、間違いを直したり、家でもお父さんやお母さんに教えてもらったりしながら宿題をしていました。すると、ある日の算数のテストが90点でした。今までで一番良い点数なのではると君は大喜びし、家で、にこにこ笑顔でテストを見せました。

ワーク1 あなたなら、はると君にどんな言葉をかけますか？

ワーク2 その言葉を聞いて、はると君は、どんな気持ちになるでしょう。

ワーク3をお書きください

これから、お子さんをほめることについて、心がけたいことを書きましょう。

小学生（高学年）・中学生の保護者向け 2-2

テーマ

子どもがなかなか勉強しない・・・
自分から学習に向かう子にするには？

エピソード

あやねさんは学校から帰るなり、ゲーム三昧。一向に勉強を始める気配がありません。

親としては、言わないでおこうと思っても、ストレスがたまりイライラ。つい「勉強しなさい。」と叱ってしまうこともたびたびです。

ワーク1

あやねさんが机に向かわない理由を、できるだけたくさん考えてみましょう。

ワーク2

あやねさんが机に向かえない理由として、周りの状況・人・場所など環境面での理由を考えてみましょう。



コピーしてすぐに使えます！

「親はぴトーク」



◆お問い合わせ
福井県教育庁義務教育課
TEL：0776-20-0574
FAX：0776-20-0671
MAIL：gimu@pref.fukui.lg.jp

